WD20
工事マニュアル

お願い

このマニュアルは、装置に同梱しておりません。
設置工事の際は、このマニュアルを持参してください。

はじめに

この工事マニュアルには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。
本書は大切に保存し、必要なときにお読みください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷*1を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害*2を負う可能性が想定される内容および物的損害*3のみの発生が想定される内容を示しています。

＊1：重傷とは失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
＊3：物的損害とは家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

⃠	この表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
❗	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

■免責事項

下記免責事項がありますので、あらかじめご了承ください。
・地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
・本装置の使用または使用不能から生じる付随的な損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断、通信機会の喪失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
・IP電話サービスを利用することによる金銭上の損害及び、逸失利益について、第三者からのいかなる請求についても当社はその責任を負いません。
・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
・当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
・本製品は絶対改造しないでください。記載されていない改造、回路変更などを行った場合、当社は一切の責任を負いません。

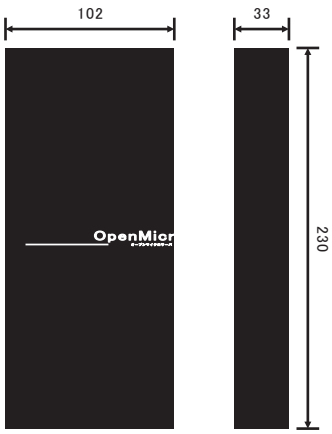
登録商標について

●本文中に記載されている会社名及び製品名、サービス名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

目次

① 構成品・・・

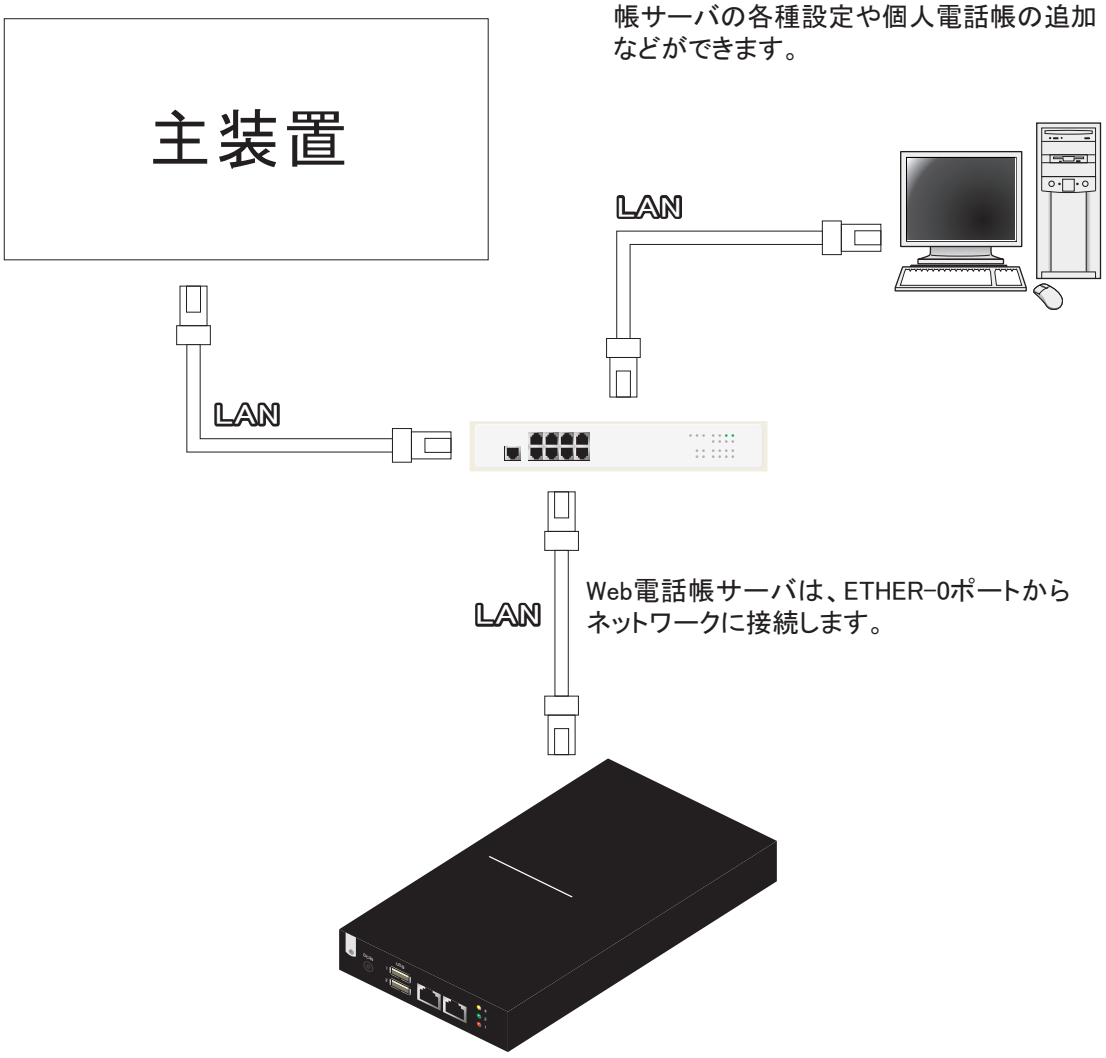
①構成品

品名	外形寸法(mm)	備考
Web電話帳サーバ (WD20)	 約445g	**【付属品】** ・「警告」(黄色い紙)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ・ソフトウェア エンドユーザ使用許諾書・・・・・・・・・・ 1 ・お問い合わせ窓口のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ・取扱説明書～はじめにお読みください・・・・・・・・・ 1 ・簡易設定ガイド(保証書含む)・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ・本体・・・ 1 ・コンパクトフラッシュ(128MB)※本体内蔵・・・・・・・・1 ・専用ACアダプタ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 ・ACアダプタ用ACケーブル(1.8m)・・・・・・・・・・・・・ 1 ※設定は全て後述のWeb設定から行うようにしてください。 付属の簡易設定ガイドにある設定は必要ありません。

②システム構成図

主装置をWeb電話帳サーバと同一ネットワークに接続することで、Web電話帳サーバでビジネスホンの電話帳が利用できるようになります。

ネットワークに接続されたPCから、Web電話帳サーバの各種設定や個人電話帳の追加などができます。



Web電話帳サーバは、ETHER-0ポートからネットワークに接続します。

③工事の前に

（1）工事上の注意

⚠警告

- ⃠ 指定された電圧以外の電源を使用しないでください。感電・発火・故障の危険があります。
- ⃠ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所に設置しないでください。
- ⃠ 電源延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。発熱、発火する恐れがあります。
- ❗ 電源プラグをコンセントに差す場合は、確実に根元まで差し込んでください。
- ⃠ 装置の内部にドライバなどの金属類を入れないでください。また、ネジなどを落とさないでください。

⚠注意

- ⃠ 電源コードの上に重いものをのせないでください。
- ⃠ 熱器具の近くに電源コードを配置しないでください。
- ❗ 電源プラグは必ずプラグ本体を持って抜いてください。
- ⃠ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
- ⃠ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ⃠ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

（2）設置上の注意

安定した場所に設置し、次の項目に十分注意してください。

⚠警告

- ⃠ 縦置きで使用しないでください。また、ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
- ⃠ 各ケーブルに重いものをのせたり、熱器具を近づけたりしないでください。ケーブルの被膜が傷つき火災や感電の原因になります。
- ⃠ 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気の当たる場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ❗ 機器の接続、取り外しは本書の指示にしたがって行ってください。誤った取り扱いをするとけが、火災や感電の原因になります。

⚠注意

- ⃠ 機器の上に重いものをのせないでください。ものが落下したり、装置が転倒したりして、けがの原因になります。
- ❗ 長期間、機器をご使用にならない場合は、全ケーブルを装置から外してください。
- ❗ 本装置の電源には、電圧100V-240VのAC電源もしくはIEEE802.3afに準拠したPoE給電する電源を使用してください。それ以外の電源を使用すると火災の原因になります。またすぐにACアダプタおよびPoE給電ネットワークケーブルを抜けるように、コネクタの周りには物を置かないでください。
- ❗ 個々の機器は電源コンセントからあまり離さないように設置してください。
- ❗ 瞬時停電が起こりやすい環境や電圧変動の激しい環境での使用は避けてください。
- ❗ ACアダプタ接続時に、ACアダプタ本体を宙づり状態にしないでください。コネクタ部分やコード差し込み部分が重さに耐えきれずに破損する場合があります。
- ❗ 電源は、エアコン、工作機械、OA機器と共用する電源コンセントを使用しないでください。
- ❗ 著しく温度の高い場所（PoE受電時50℃以上、AC電源使用時37℃以上）に設置しないでください。火災の原因になります。
- ❗ 電源の延長コードは使用しないでください。発熱や発火の危険があります。
- ❗ 本装置の電源コードセットには、同梱した電源コードセットを使用してください。同梱コードセットは本装置専用のもので、他の製品には使用しないでください。電源コードセットは本装置を使用する国で承認を受けたものでなければなりません。同梱した電源コードセットは日本国内専用のものです。

  以下のことに注意して取り扱ってください。

  ・物をのせない　・引っ張らない　・押しつけない　・折り曲げない

  ・加工しない　・束ねない　・熱器具のそばで使わない

  取り扱いを誤ると、電源ケーブルの銅線が露出したり、ショートや一部断線で、過熱して火災や感電の原因になります。

（3）配線・接続上の注意

⚠警告

- 各ケーブルに重いものをのせたり、熱器具を近づけたりしないでください。ケーブルの被膜が傷つき火災や感電の原因になります。
- 配線ケーブルをステップルで強くとめないでください。配線がショートすることがあります。
- 電源延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。発熱、発火する恐れがあります。

⚠注意

- 通路にケーブルをはわせないでください。つまづいてけがの原因になります。
- じゅうたんの下への配線は避けてください。
- 机やロッカーなどで、配線ケーブルをはさまないでください。
- 床上配線をして踏まれる恐れがある場合は、ワイヤプロテクタなどにより保護してください。

（4）その他の注意

⚠警告

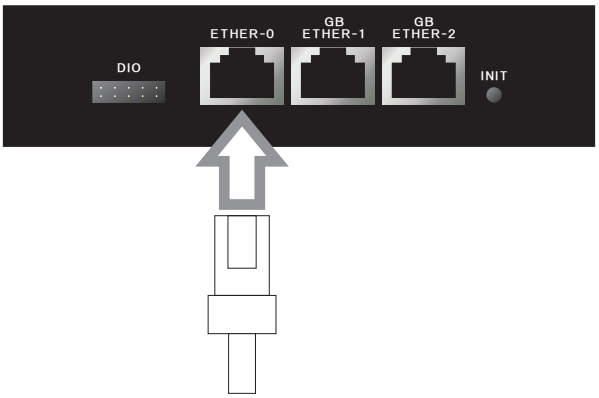
- システム装置の製品寿命期間以上使用される場合は、構成部品の交換が必要となります。そのまま使用すると、電解液の漏れや枯渇により発煙、発火、感電の原因になります。また、システム装置の故障の原因にもなります。
- 本システム装置には、設定値をバックアップするために電池を使用しています。次のようなことは行わないでください。取り扱いを誤ると電池の過熱・破裂・発火・液漏れなどでけがをしたり、発煙・発火の原因になります。
  ・分解　・100℃以上に過熱
- ハードウェア、OS、アプリケーション等の組み込みや変更、インストールは行わないでください。本装置が正常に動作しなくなる可能性があります。もし行った場合には保証対象外ですのでご了承ください。
- LANケーブルを除き、本装置に接続されるケーブルは3m以下にしてください。

④Web電話帳サーバの工事

（1）電源、LANケーブルの接続

●LANケーブルの接続

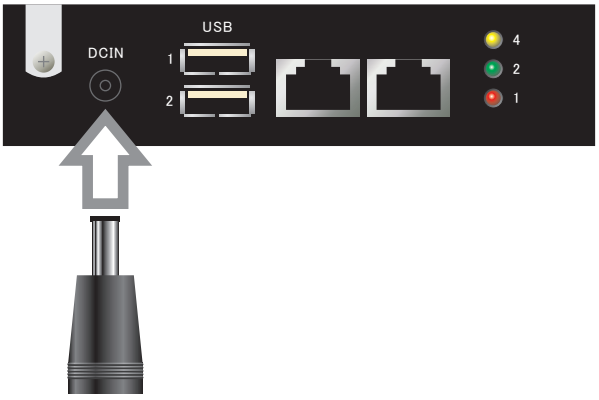
LANケーブルの接続は、ETHER-0ポートを使用します。
ETHER-1、ETHER-2ポートは使用しません。



HUB、設定用PCへ

●電源コードの接続

DCINに電源を接続すると、装置が起動します。
PoEで給電を行う場合は、上記LANケーブルの接続でPoEハブからETHER-0に接続することで電源も供給されます。



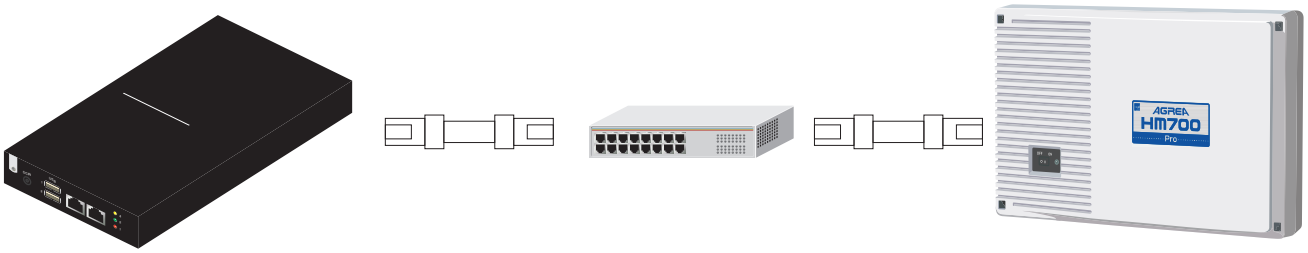
電源をDCINに接続する

（2）HM700主装置との接続

Web電話帳サーバとビジネスホンを接続する場合は、HUBで中継してネットワーク接続してください。
また、**接続できる主装置は、Web電話帳サーバ1台に対して1つの主装置となります。**

《HM700との接続》

HM700主装置にVoIP基板が収容されている場合、HUBからのLANケーブルは、VoIPユニットのLAN1～LAN2のいずれかのポートへ接続してください。



Web電話帳サーバ　　HM700主装置

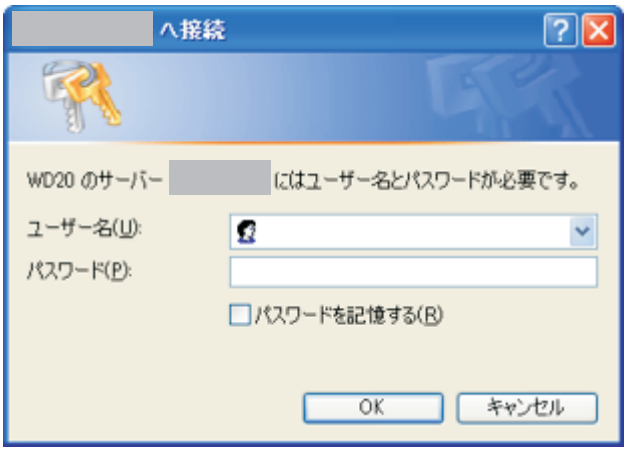
⑤管理画面

ユーザの追加やネットワークの設定などは、管理画面で行います。
ここでは管理画面へのログイン方法から各種設定を説明します。

（１）管理画面へのログイン方法

1. ブラウザからサーバへアクセスする
ブラウザを起動し、アドレスバーにWeb電話帳サーバの初期値（http://192.168.1.240:8080/）を入力し、Enterを押します。
※アクセスするPCは同一ネットワークに設定しておいてください。

2. ユーザー名・パスワードを入力する
管理者用ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」を クリックします。
ユーザー名・パスワードは初期で次のものが登録されています。
ユーザー名：admin
パスワード：adminwd20



3. メニューとトップが表示される
ログインすると、左側にメニューと、右側にトップ画面が表示されます。
各種設定を行う場合は、左側のメニューをクリックします。
※次ページからは各項目について説明します。

（２）管理者設定

メニューから「管理者設定」をクリックする

《管理者を追加する》

1．管理者ID、パスワードを入力し、「追加」をクリックする

管理者としてログインできる管理者IDとパスワードを入力します。
ここで追加したIDとパスワードを使用し、管理画面にログインできるようになります。
入力条件は以下の通りです。
管理者ID：半角英数字4～16文字
パスワード：半角英数字4～16文字

2．確認画面

管理者が追加されます。（上の画面）
全角文字などを入力し、管理者が追加できなかった場合はエラー画面が表示されます。（下の画面）
追加が正常にできた場合は、「確認」ボタンをクリックしてください。
エラーになった場合は、「戻る」ボタンをクリックし、管理者IDを見直し、パスワードを入力して追加してください。

《管理者のパスワードを変更する》

1．プルダウンから管理者を選択し、「変更」をクリックする

パスワードを変更したい管理者を選択し、「変更」ボタンをクリックします。

2．新しいパスワードを入力し、「変更」をクリックする

※パスワードは4～16文字で入力します。

3．確認画面

該当管理者のパスワードが変更されます。（上の画面）
全角文字や文字数が足りない場合などのエラーがある場合はエラー画面が表示されます。（下の画面）
修正が正常にできた場合は、「確認」ボタンをクリックしてください。
エラーになった場合は、「再変更」ボタンをクリックし、再度パスワードを入力するか、「変更しない」をクリックし、戻ってください。

《管理者を削除する》

1. プルダウンから管理者を選択し、「削除」をクリックする
   削除したい管理者を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

2. 削除確認
   削除の確認画面が表示されます（上の画面）
   削除してよければ「はい」をクリックしてください。
   間違えた管理者を選択した場合には「いいえ」をクリックしてキャンセルしてください。
   現在ログイン中の管理者を選択した場合はエラー画面が表示されます。（下の画面）
   エラーになった場合は「戻る」ボタンをクリックし、戻ってください。

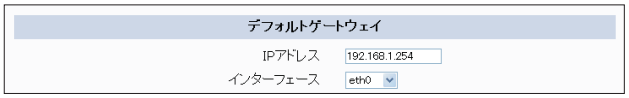
3. 確認画面
   選択した管理者が削除されます。
   削除された管理者のIDとパスワードでは管理画面にログインできなくなります。

（３）ネットワーク設定

メニューから「ネットワーク設定」をクリックする

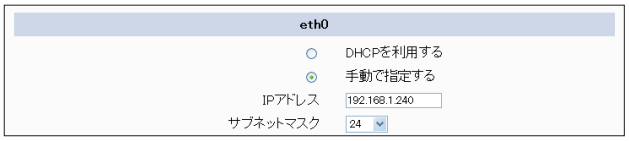
《デフォルトゲートウェイを変更する》

1．デフォルトゲートウェイを入力し、インタフェースを選択する
Web電話帳サーバでは、eth0を使用しますので、インタフェースはeth0を選択してください。



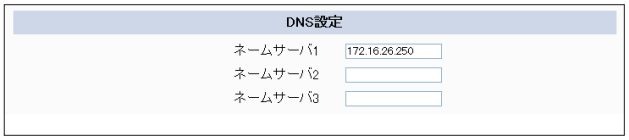
《IPアドレスを変更する》

1．IPアドレスを入力し、サブネットマスクを選択する
Web電話帳サーバでは、eth0を使用しますので、eth0を変更してください。



《ネームサーバのアドレスを設定する》

1．プロバイダから通知されたDNSのアドレス、もしくはルータのアドレスを入力する



《NTPサーバのアドレスを変更する》

1．NTPサーバのURLもしくはIPアドレスを入力する

《設定を仮登録する》

1．「変更」ボタンをクリックする
入力項目に間違いがなければ、仮登録されます。（真中の画面）
入力項目に間違いがある場合は、その旨が表示されますので、入力項目を見直してください。（下の画面）
仮登録後、設定を反映させるには、再起動してください。
※再起動の方法は、（11）再起動(18ｼﾞ)をご覧ください。

（４）ビジネスホンIP設定

メニューから「ビジネスホンIP設定」をクリックする

《主装置のIPアドレスを登録する》

1．機種(HM700)を選択し、主装置のIPアドレスを入力し、「設定」をクリックする

2．確認画面

「設定」をクリックすると、主装置から電話帳データが取得可能かチェックし、取得可能であれば設定が反映されます。（上の画面）

主装置から電話帳データが取得できない場合は、設定が完了できません。（下の画面）

ネットワークの設定、接続などを見直してください。

（５）ビジネスホン電話帳確認

《主装置に登録されている電話帳を確認する》

1．メニューから「ビジネスホン電話帳確認」をクリックする

クリックすると、定期的に取得された電話帳データの一覧が表示されます。

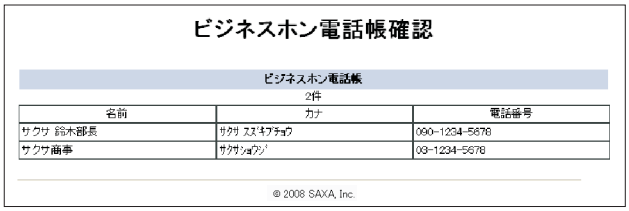
主装置から電話帳データを取得できない場合は0件となります。

※電話帳データは、ビジネスホンIP設定で登録された主装置から10分間隔で自動的に更新されます。

主装置側の電話帳を編集してもすぐ更新されませんのでご注意ください。

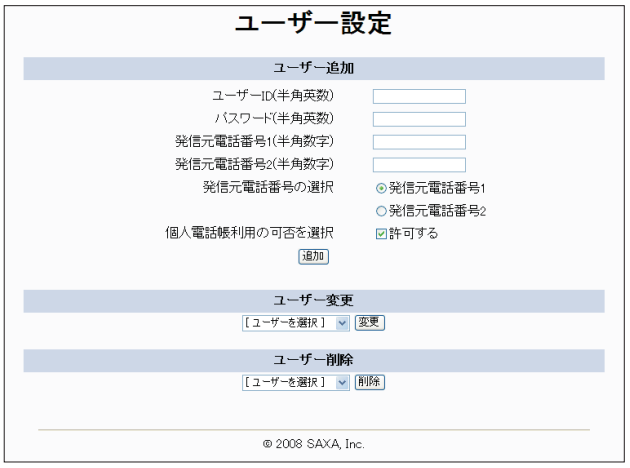
電話帳データの取得時間は以下の通りです。

毎時0分、10分、20分、30分、40分、50分



（６）ユーザー設定

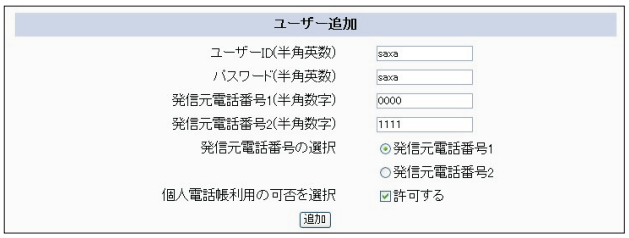
メニューから「ユーザー設定」をクリックする



《ユーザーを追加する》

１．ユーザー追加に各種必要な内容を入力し、「追加」をクリックする

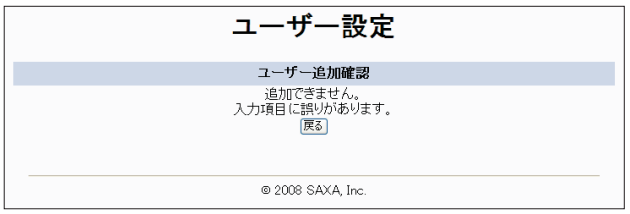
入力条件は以下の通りです。
ユーザーID：半角英数字4～16文字
パスワード：半角英数字4～16文字
発信元電話番号1：1～15桁の数字
発信元電話番号2：1～15桁の数字
※発信元電話番号を1つしか使用しない場合は、
どちらか一方のみを記入してください。



個人電話帳利用の可否の選択で、
「許可する」にチェックして登録したユーザーは、
一般ユーザー画面において個人電話帳の登録が
可能です。
※チェックせずに登録したユーザーは、
　一般ユーザー画面での個人電話帳の登録が
　不可能になります。
　但し、管理者画面から登録することは可能です。

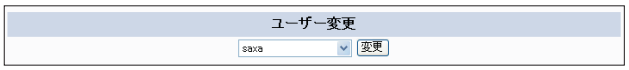
２．確認画面

「追加」をクリックすると、入力したユーザーのデータが追加されます。（上の画面）
入力項目に誤りがある場合は、追加されません。（下の画面）

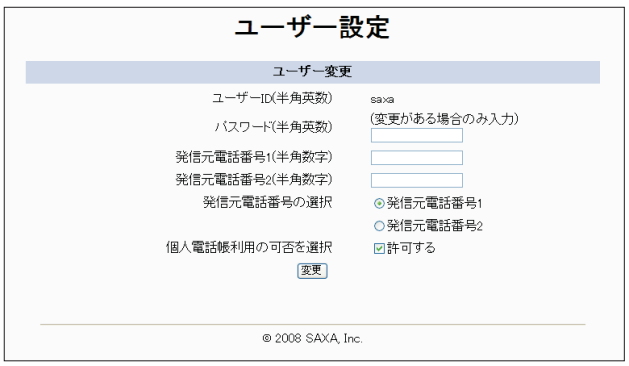


《ユーザー情報を変更する》

1. 変更したいユーザーを選択し、「変更」をクリックする



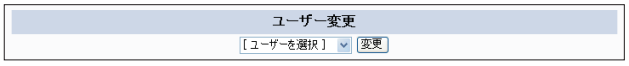
2. 各種内容を修正し、「変更」をクリックする
   入力条件は以下の通りです。
   ユーザーID：半角英数字4～16文字
   パスワード：半角英数字4～16文字
   発信元電話番号1：1～15桁の数字
   発信元電話番号2：1～15桁の数字
   ※ユーザーのパスワードは、変更しない場合は未入力でも問題ありません。



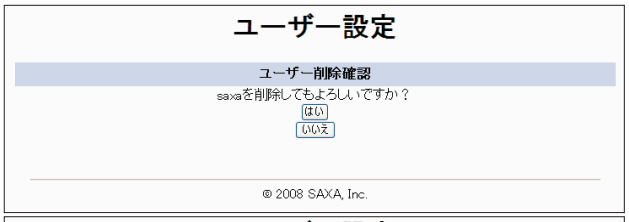
3. 確認画面
   「変更」をクリックすると、選択したユーザーのデータが変更されます。（上の画面）
   入力項目に誤りがある場合は、変更できません。（下の画面）
   この場合は、「再変更」をクリックし、編集し直すか、「変更しない」をクリックし、戻ってください。

《ユーザーを削除する》

1. 削除したいユーザーを選択し、「削除」をクリックする



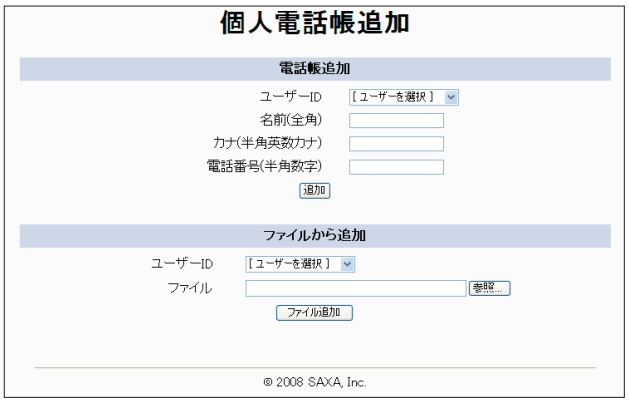
2. 削除確認
   削除の確認画面が表示されます。
   削除してよければ「はい」をクリックしてください。
   間違えたユーザーを選択した場合には、「いいえ」をクリックしてキャンセルしてください。



3. 確認画面
   選択したユーザーが削除されます。

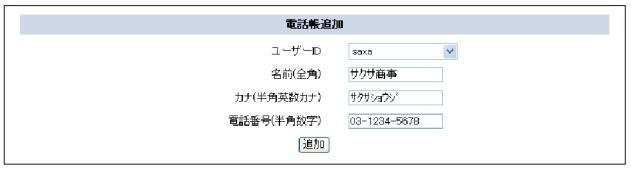
（７）個人電話帳追加

メニューから「個人電話帳追加」をクリックする



《個人電話帳に1件ずつ追加する》

1. 電話帳を追加したいユーザーを選択し、各項目を入力して「追加」をクリックする



入力条件は以下の通りです。
名前：全角（32文字以内）・半角（64文字以内）
カナ：半角もしくは半角に変換可能な全角
（64文字以内）
電話番号：半角の数字およびハイフン-,括弧（）,プラス+
（1～27桁）
※これdeコールの発信時に非通知でかける機能がありますので、184は登録しないでください。
184を登録すると、検索結果表示時に市外局番の部分が分かりにくくなります。

Memo

●電話番号の入力において、以下の場合は登録不可となります。

・"()"が揃っていない場合
・"＋"が先頭以外の場合
・"-"が先頭の場合
・"()"内に"-"や"()"がある場合
・"()"内に数字がない場合
・"+-"、"-("、")-"、"--"がある場合

2. 確認画面

「追加」をクリックすると、選択したユーザーの個人電話帳にデータが追加されます。（上の画面）
入力項目に誤りがある場合は、追加できません。（下の画面）

《ファイルからユーザー電話帳に追加する》

1. 電話帳を追加したいユーザーを選択し、「参照」ボタンをクリックし、データが入っているCSV ファイルを選択したら「ファイル追加」をクリックする

CSVファイルのフォーマットは以下の通りです。
名前,カナ,電話番号
（名前、半角カナ、電話番号をカンマで区切ります。）

2. 確認画面

「ファイル追加」をクリックすると、CSVファイル内のデータが選択したユーザーの個人電話帳に一括で追加されます。（上の画面）
ファイル内のデータ入力に誤りがある場合は、追加できません。（下の画面）

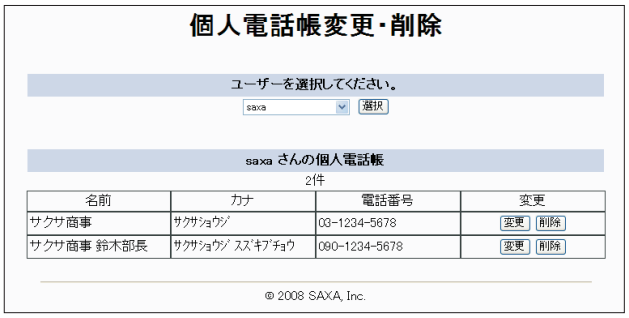
（８）個人電話帳変更・削除

メニューから「個人電話帳変更・削除」をクリックする

《個人電話帳を表示する》

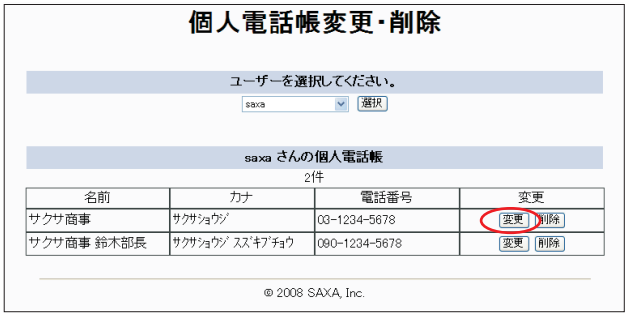
1. 電話帳データを表示したいユーザーを選択し、「選択」をクリックする

2. 登録されている電話帳データが一覧で表示される
   そのユーザーの個人電話帳の一覧が表示されます。

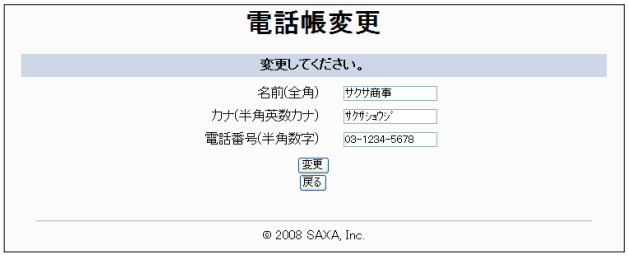


《個人電話帳を編集する》

1. 電話帳データの一覧から「変更」ボタンをクリックする
   変更したい電話帳データの右にある「変更」ボタンをクリックすることで、該当の電話帳データを変更することができます。



2. 各種内容を編集し、「変更」をクリックする
   入力条件は以下の通りです。
   名前：全角（32文字以内）・半角（64文字以内）
   カナ：半角もしくは半角に変換可能な全角
   （64文字以内）
   電話番号：半角の数字およびハイフン-,括弧（）,プラス+
   （1～27桁）
   ※これdeコールの発信時に非通知でかける機能がありますので、184は登録しないでください。
   184を登録すると、検索結果表示時に市外局番の部分が分かりにくくなります。
   変更しない場合には、「戻る」をクリックし、戻ってください。



Memo

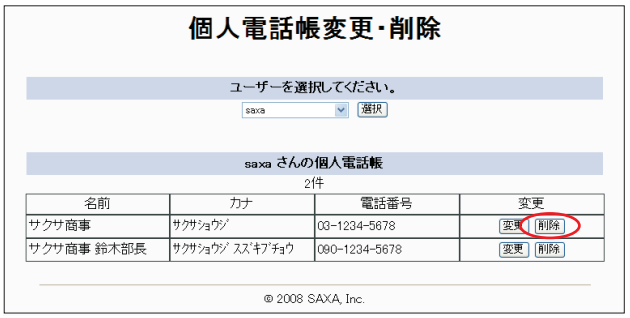
●電話番号の入力において、以下の場合は登録不可となります。

・"()"が揃っていない場合
・"＋"が先頭以外の場合
・"-"が先頭の場合
・"()"内に"-"や"()"がある場合
・"()"内に数字がない場合
・"+-"、"-("、")-"、"--"がある場合

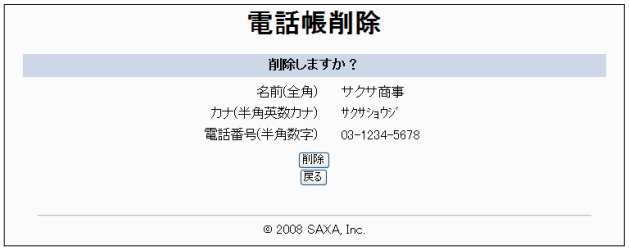
3. 確認画面
   「変更」をクリックすると、選択した電話帳データが変更されます。（上の画面）
   入力項目に誤りがある場合は、変更できません。（下の画面）

《個人電話帳を削除する》

1. 電話帳データの一覧から「削除」ボタンをクリックする
   削除したい電話帳データの右にある「削除」ボタンをクリックすることで、該当の電話帳データを削除することができます。



2. 削除確認
   削除対象の電話帳データが表示されます。
   削除したくない場合は、「戻る」をクリックし、戻ってください。



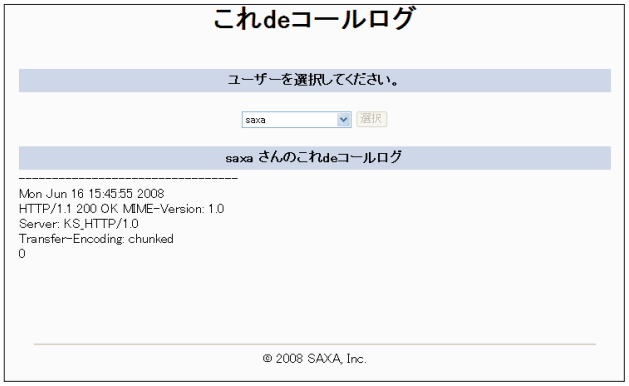
3. 確認画面
   選択した電話帳データが削除されます。

（９）これdeコールログ

メニューから「これdeコールログ」をクリックする

《これdeコールのログを確認する》

1. これdeコールのログを表示したいユーザーを選択し、「選択」をクリックする
   選択したユーザーで利用したこれdeコールログが表示

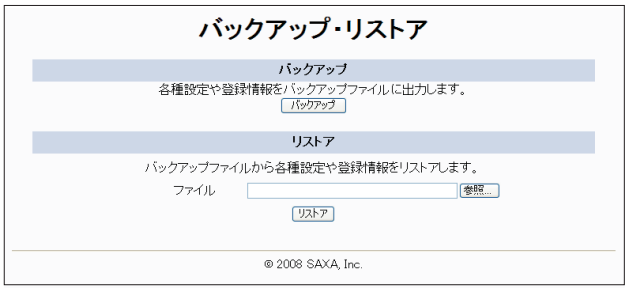


Memo

●NTPサーバから正しい時計データを取得できなかった場合、1行目の日時表示が正しく表示されない場合があります。

（１０）バックアップ・リストア

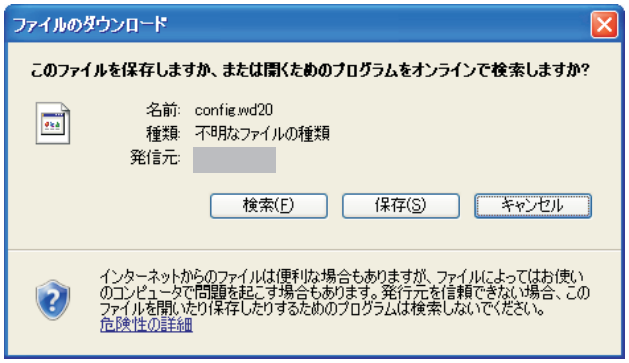
メニューから「バックアップ・リストア」をクリックする



《データをバックアップする》

1. 「バックアップ」をクリックする

2. 「保存」をクリックし、保存する
   ファイルを保存する場所を選択して、バックアップファイルを保存します。
   ※バックアップするデータは以下のデータとなります。
   ・管理者ID情報
   ・ユーザーID情報
   ・これdeコール設定情報
   ・個人電話帳データ
   ・ネットワーク設定
   ・ビジネスホンIP設定
   ・プログラム更新URL設定
   ・これdeコールURL設定



《データをリストアする》

1. 「参照」ボタンをクリックし、設定ファイルを選択する
   バックアップしたファイルを選択します。

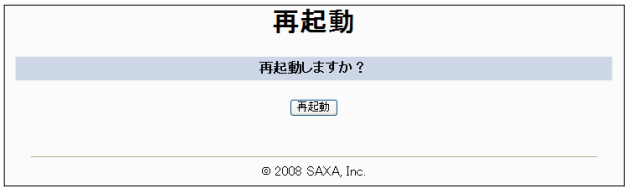
2. 「リストア」をクリックする
   「リストア」をクリックすると、各種データが元に戻ります。
   ネットワーク設定も書き換えるため、次の操作で再起動を必ず行ってください。

   ※リストアを実行する場合には、WD20を誰も使用していないことを確認してください。
   外部から利用されている可能性がある場合は、一度再起動を行ってからリストアすることをおすすめします。
   誰かが使用中にリストア操作を行った場合には、データが正常に元に戻らないことがあります。

3. 「再起動」をクリックする
   再起動後、データが元に戻っていることを確認してください。

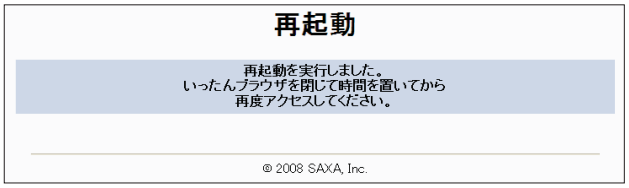
（１１）再起動

メニューから「再起動」をクリックする



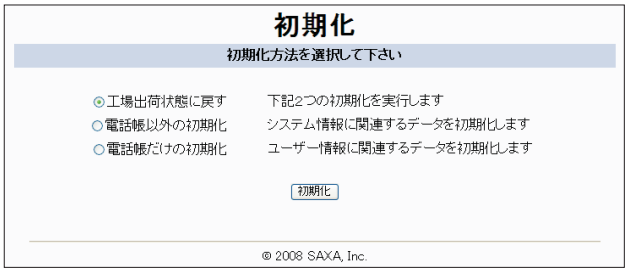
《再起動する》

1. 「再起動」をクリックする
   右の画面が表示されたら、約1分ほどで再起動が完了します。
   ブラウザを終了し、再度アクセスし直してください。



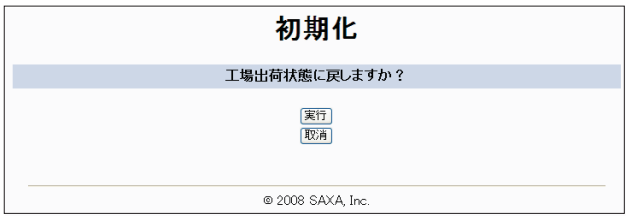
（１２）初期化

メニューから「初期化」をクリックする

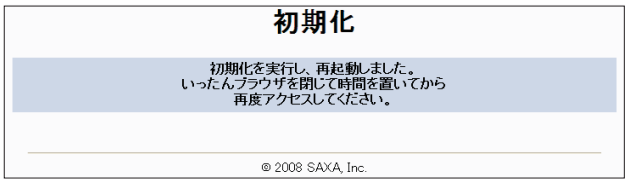


《初期化する》

1. 初期化方法を選択し、「初期化」をクリックする



2. 確認後、「実行」をクリックする
   右の画面が表示されたら、自動的に再起動します。
   ブラウザを終了し、約1分後、
   再度アクセスし直してください。



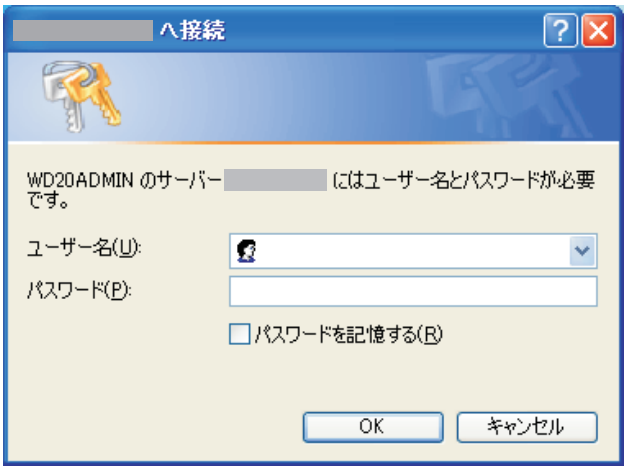
⑥工事者用画面

プログラム更新およびこれdeコールURLの設定は、工事者用画面で行います。
ここでは工事者用画面へのログイン方法から各種設定を説明します。

（１）工事者用画面へのログイン方法

1. ブラウザからサーバへアクセスする
ブラウザを起動し、アドレスバーにWeb電話帳サーバの初期値（http://192.168.1.240:18080/）を入力し、Enterを押します。
※アクセスするPCは同一ネットワークに設定しておいてください。

2. ユーザー名・パスワードを入力する
管理者用ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」を クリックします。
ユーザー名・パスワードは初期で次のものが登録されています。
ユーザー名：admin
パスワード：mf366



3. メニューとトップが表示される
ログインすると、左側にメニューと、右側にトップ画面が表示されます。
各種設定を行う場合は、左側のメニューをクリックします。
※次ページからは各項目について説明します。

（２）プログラム更新URL設定

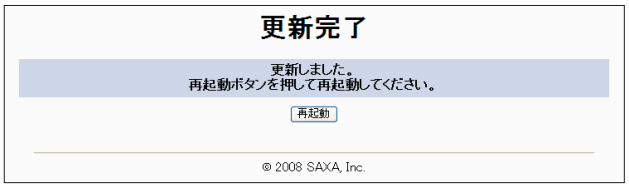
メニューから「プログラム更新URL設定」をクリックする

《Web電話帳サーバのプログラムを更新する》

1. プログラム更新URLを入力し、「設定」をクリックする
プログラム更新URLは下記のものが入力されています。
http://firm.saxa.biz/download/wd20/
入力したら「設定」ボタンをクリックします。
※特に初期値から変更する必要はありません。

2. プログラム更新URLを入力し、「設定」をクリックする
プログラムが更新可能であれば、現在のバージョンと更新後のバージョンが表示されます。（上の画面）
すでにWeb電話帳サーバが最新のバージョンになっている場合は、その旨が表示されます。（下の画面）

3. 「更新」をクリックし、プログラム更新を実行する
プログラム更新が実行されます。
更新が終わると画面が切り替わりますので、「再起動」をクリックして再起動を行ってください。



4. 再度アクセスし、バージョンを確認する
再度Web電話帳サーバにアクセスし、バージョンが最新に変わっていることを確認してください。

（３）これdeコールURL設定

メニューから「これdeコールURL設定」をクリックする

《これdeコール接続先のURLを変更する》

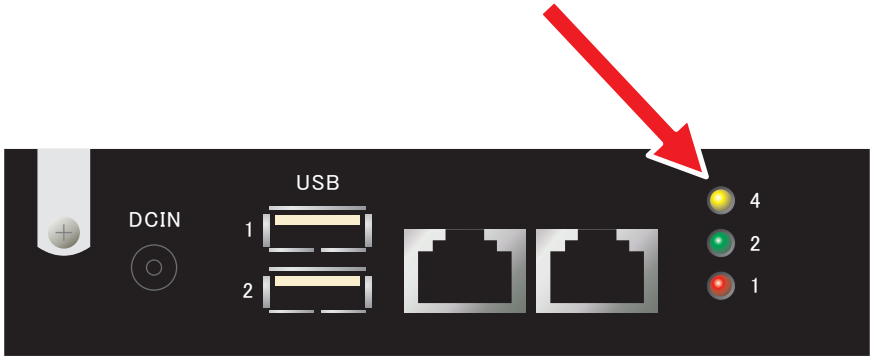
1. これdeコールURLを入力する
   これdeコールURLは下記のものが入力されています。
   http:// （ビジネスホンIPアドレス）/call/calling.cgi
   ※基本的に初期値から変更することはありません。
   ※（ビジネスホンIPアドレス）には、管理者設定の「ビジネスホンIP設定」で登録した「主装置IPアドレス」が自動的に埋め込まれます。

2. 「設定」をクリックする
   これdeコール接続先URLが変更されます。

⑦装置の電源を切る

１．INITボタンを先の細いもので押す。

２．３つのLEDが同時に点滅したら電源を抜く。または、
ＰｏＥＨＵＢから接続されているＬＡＮケーブルを抜く。



サクサ株式会社

897BM | 088-1 | Z

4376068100

この資料の内容は平成20年8月現在のものです。

この資料は再生紙を使用しています。